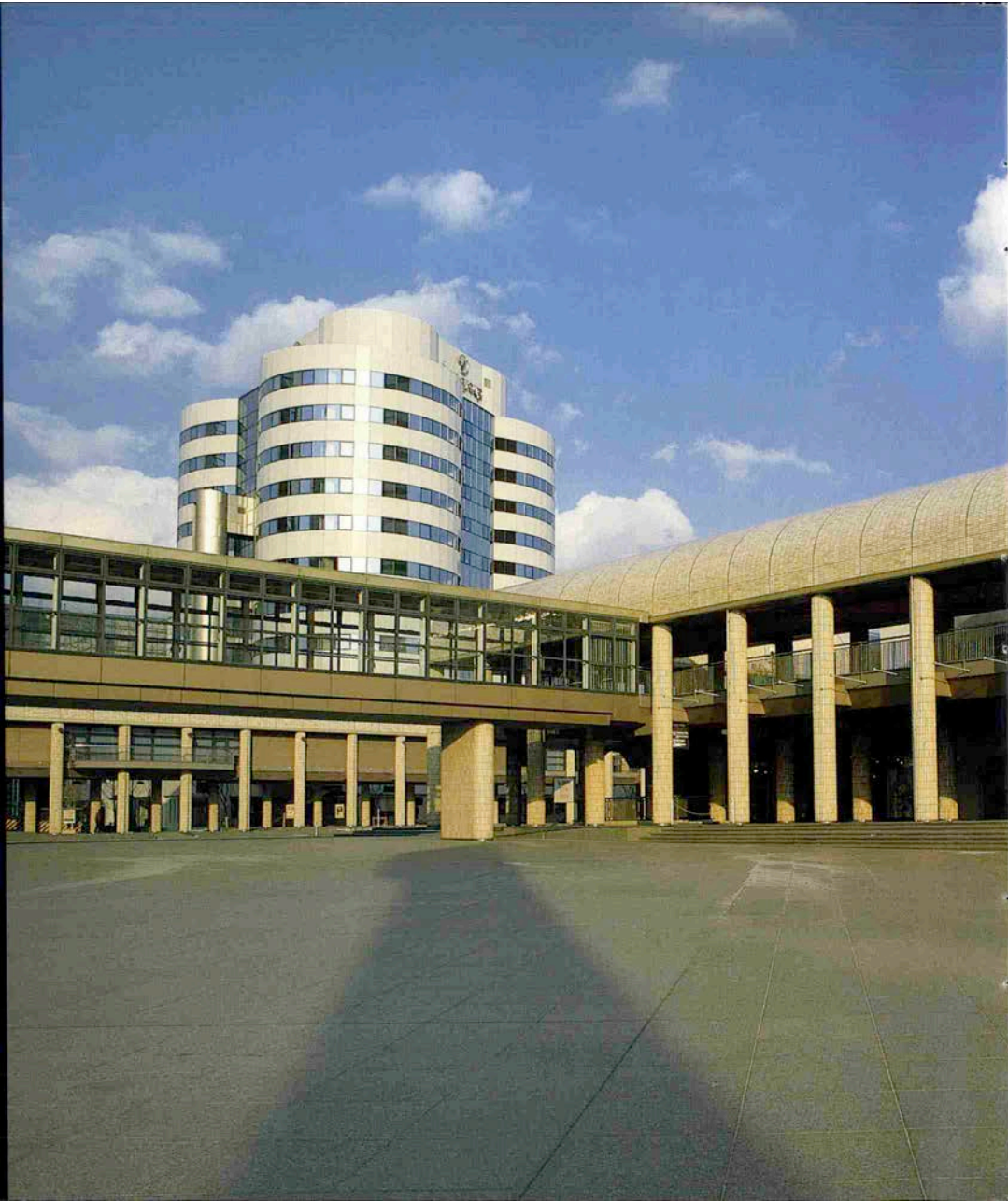


神戸の風色

KOBE ● FUSHOKU

堀内初太郎 NO.51





ポップ感
仲間と飲

P
RESTA

72



ステー
いも弾む

中
A

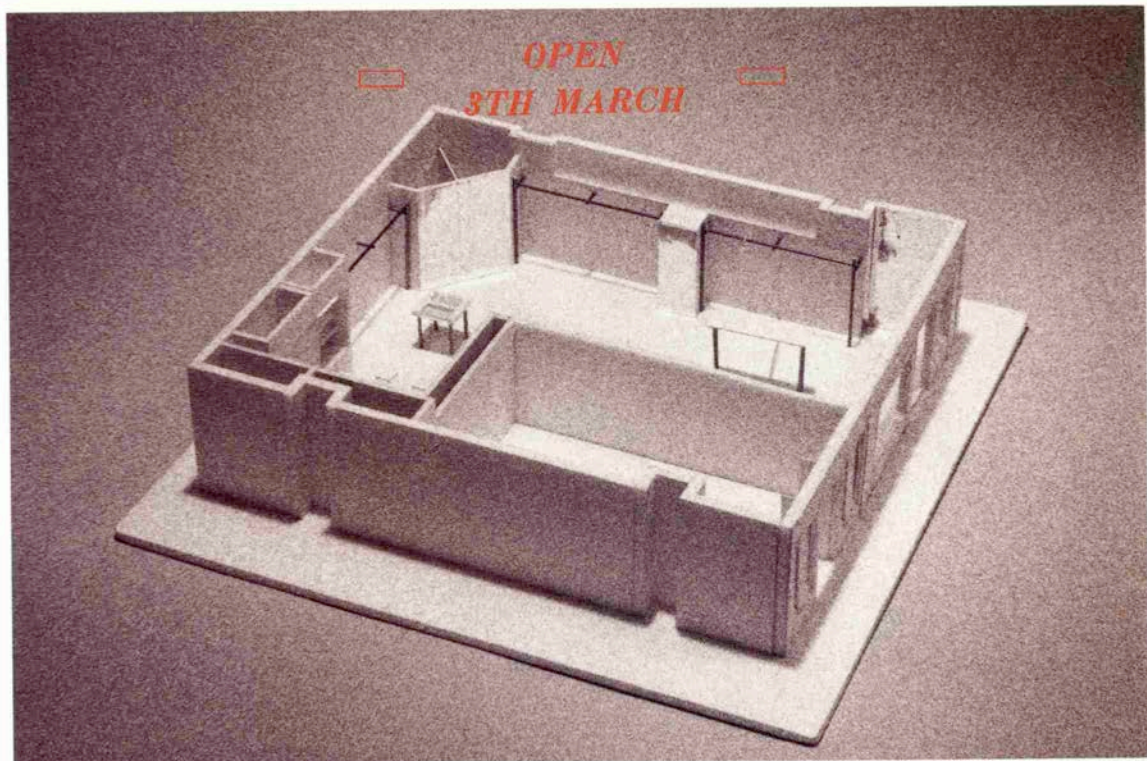


errenno
MILANO - ITALY

Sanohe

ヌーベルサノヘ
元町1番街/078・321-1710

3月1日から4日までヌーベルサノヘにて'84秋冬物受注会を催します。



日頃のご愛顧ありがとうございます。皆さまと共に神戸のファッションをつづってきましたウィンザー、1984年花開く3月に新しくページを開きます。リフレッシュされた店内で、心暖かく皆さまをお迎えさせていただきます。皆さまのご来店をスタッフ一同心よりお待ちしております。



Windsor

クチュール&ブティック

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目さんプラザ2F TEL (078) 331-7952

気品ある
春の訪れ...



● オーダーサロン・キノシタパールでは、
品質・サイズともに豊富に品揃えをいたしております。

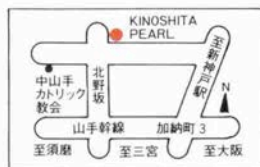


WHOLESALE & EXPORTER of Cultured Pearls

**KINOSHITA
PEARLS
CO., LTD.**

Order Salon

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)
TEL (078) 221-3170
10:00a.m.~6:00p.m. 木曜日定休



YUKIEY
LEMONA



と ひ 着
ま と た
い り と
り の き
ま 女 は
し 、 、
よ
う
。

贈る心にお菓子をそえて



いいものは時代をこえて生き続けます

コウベゴーフル

あなたのセンスで組合せいろいろ。ゴーフルのさわやかさを自由にコーディネートできる新しいコウベゴーフル。あなたのフレッシュな感覚をひととき印象深く演出いたします。



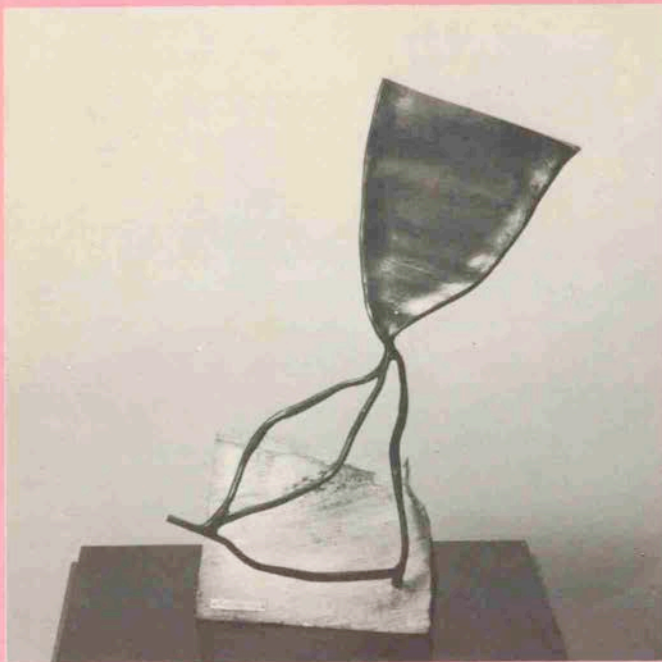
神戸 風月堂

本社・神戸市中央区元町通3丁目3-10 ☎(078)321-5555

ミニゴーフル

これは神戸を愛する人々の雑誌です
 あなたのくらしに楽しい夢をおくる
 神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
 これは神戸っ子の手帖です

3月号目次●1984・No.275



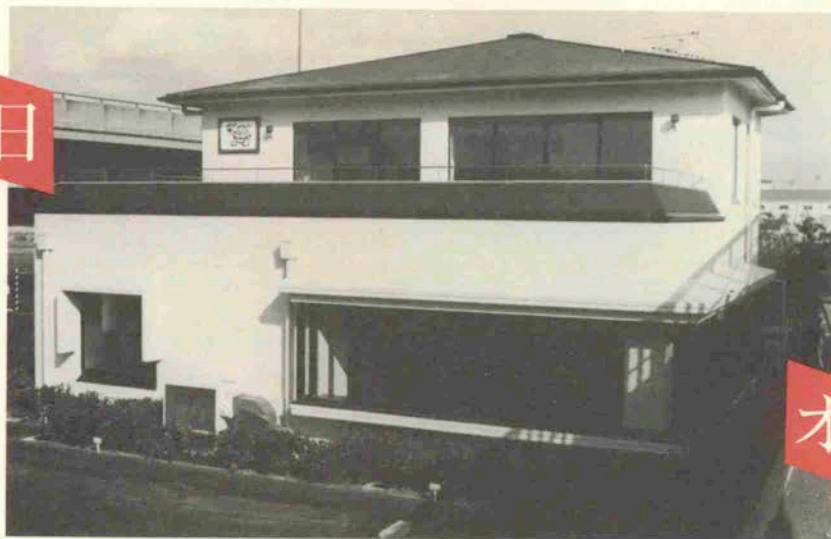
目次作品／宮崎豊治「身辺モデル」

- 表紙／小磯良平
 セカンドカバー／スケッチブックから(63)ヨーロッパを描く／西村 功
 9 第13回ブルーメール賞受賞者
 美術部門／藤原志保・文学部門／時里二郎
 舞台芸術部門／花柳五三輔・音楽部門／末広光夫
 ファッション部門／「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクト会議
 エトランゼの輪郭(25)／松本 宏
 18 神戸の風色(51)堀内初太郎
 29 わたしの意見／左藤 孜
 30 第13回ブルーメール賞受賞者発表
 33 随想／山下 博／川西季乃／望月美佐
 37 地域文化論(その55)中国・「西冷印社」と「岳麓書院」／水谷頼介
 38 詩心象(21)詩・安水穂和／絵・石阪春生
 40 れんさいエッセイ(最終回)小原稚子 絵・上尾忠生
 42 創刊23周年記念対談／宮崎辰雄神戸市長VS石野信一神戸商工会議所会頭
 51 経済ポケットジャーナル
 52 第13回ブルーメール賞選考座談会
 美術部門／赤根和生・増田 洋・草野拓郎
 文学部門／伊勢田史郎・安水穂和・君本昌久
 音楽部門／吉村一夫・柴田 仁・小石忠男
 舞台芸術部門／佐野達実・名生昭雄・岡田美代
 ファッション部門／福富芳美・森本泰好・藤本ハルミ・小泉美喜子
 62 さわやかインタビュー／宗野重徳・兵庫県農林水産部長
 64 キャンペーン／ハイカラ神戸の原点トアロードを夢のある坂道に
 72 話題のひろば①北野・トアロード・元町・街づくり会議ひらく
 ②第8回神戸文学賞・女流文学賞受賞パーティ
 76 ファッションスポット
 84 NEUE MODE MARCHEN／藤原順子
 88 ふたたびプロフェッサーPの研究室／岡田 淳
 108 ノコちゃんの華麗なるKOBE見てある記／日米電車交流物語
 117 コーヒーブレイク
 118 動物園飼育日記(220)亀井一成
 122 元町キャンペーン／朝比奈 隆・芦原博之・太田新次郎・島田 誠
 124 有馬歳時記(3月)
 128 神戸を福祉の町に(123)橋本 明
 130 兵庫界隈記
 134 ファッションレポート／和田研究所所長・和田浩太郎
 136 ふらっしゅ・ぼっく(41)淀川長治
 138 KOBE MODERN CULTURE
 140 コスモ・ファンタジー／青月夢月③佐藤晴美(完)
 146 ポケットジャーナル
 149 ぴっといん
 150 神戸百店会だより
 152 多田智満子・午後の対話／ゲスト・山田幸平
 158 連載小説／昔の暇③／服部洋介／絵・貝原六一
 180 連載エッセイ／風のファンタジア(3)／吉村由美
 182 海船港／港の暇、港の耳 東洋信号通信社&こうへ国際VHF
 カメラ／米田定蔵・坂上正治・橋本英男・プレゼンツ
 遠水 亨・中村昇治・田村 康・松原卓也
 池田年夫

ポーアイに**精養軒**新支店誕生

3月1日

食堂
休憩室
会議室
レストラン
駐車場有り



2階集会所
40名様

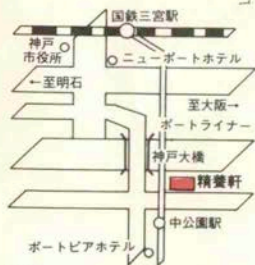
1階レストラン
11テーブル
44名様

オープン

海の幸・山の幸・肉の味

本店仕込みの味をそのまま、お値段はさらにお安く

コーヒーはUコーヒーを扱っています。豊かな香りをお楽しみ下さい。



協力
貨物自動車運送事業振興センター



神戸 **精養軒**

ポートアイランド支店

神戸市中央区港島3丁目8番1号

TEL 078(302)3818



欧風特選小皿料理20種

特選小皿料理 ¥4500
(お1人様・要予約2人以上)
帆立貝のソテー
精養軒スタイル風 ¥800
シーフードスペシャル
ポートアイランド風 ¥1200
定食(朝・昼・夜) ¥450~

'84 Spring Collection

3/1-16

神戸に恋をした、おしゃれ空間ファッションパーク

リザ・サロン
ベンチ
Caro's
VICTOIRE
ダイアナ
サイズショップダイアナ
ルベール
ランプ
CAN
ゲルラン

東京屋
新宿・高野
BONフカヤ
ココ山岡
ブランコ
ホットマン
エタム
三愛
電話078 (322) 1698

FASHION
PARK

神戸・三宮(さんプラザ・センタープラザ)

3F

営業時間 ——— A.M11:00~P.M8:00

ismの女性アーティスト訪問 4



ブラウス ¥13,900
パンツ ¥14,900
以上の商品はism sports

神戸から

ピアニスト

藤田由理のism

昨年神戸風月堂ホールで室内楽のタベ“藤田由理とその仲間達”を催した藤田さんは音楽一家に育ち、県立芦屋高校から単独渡米、イリノイ大学音楽部ピアノ科を卒業した異色のピアニスト。3万5千人の生徒に交って一生懸命勉強した成果があり、成績優秀による各種表彰を受け、奨学金も受けた。音楽教育にも関心を寄せ、現在は子供の技術指導に情熱を注いでいる。今日はヤンのアプリケが楽しいブラウスで友人の崎田邸のピアノの前に、「弾き語りも好きだし。エレクトーンにも挑戦します」と、チャレンジ精神も旺盛だ。

 **ISM CO., LTD.**
株式会社イズム

Head office: 9-21, 4-Chome, Ninomiya-cho, Chuoku, Kobe, 651, Japan TEL078-222-3641

Marketing room: 6-18, 2-Chome Ninomiya-cho, Chuoku, Kobe, 651, Japan TEL078-222-1331

※写真のブラウスを抽選で3名様にプレゼントいたします。ご希望の方は葉書に住所・氏名・年齢・職業を記名の上下記までご応募ください。'84年3月26日締切。
〒650 神戸市中央区東町113-1
大神ビル9F 月刊神戸っ子
「イズム」プレゼント係

☆私の意見

文化の核となる プラザ 広場づくりを

左藤 孜

△NHK神戸放送局長▽



私がNHK神戸放送局へ勤めるようになって、約1年半が経ちましたが、日を経るに従って、神戸という都市は、実に潤いに溢れた美しい街だと感じています。それは、神戸が大阪や東京のように掴みどころのない大きさをなく、人間が住むにほどこよい広さの街であることと、地形的にも山があり海があり、自然の環境に恵まれているからだと思います。世界の各国料理が味わえる国際色豊かな洒落た街であるうえに、街全体がとても清潔な印象を与える点は神戸ならではのことでず。

このように、神戸が全国の他都市に類を見ない、大きなメリットの数々を生まれながらにしているにもかかわらず、何かもう一つ活気という点でもの足りなさを感じるの、私だけではないと思います。たとえば、神戸の街は眠るのが早く、夜7時を過ぎるとショッピング街などは灯が消えたような淋しい街になってしまうため、仕事を終えた人たちが、気軽に集まることができるような場所がないわけです。人が集まってくるのが、街の活気を生みだし、さらにこれが一つの文化の基礎となっていく大切な点なのに、現在、神戸にはそのような場の提供がなされていないのは非常に残念でなりません。言いかえれば、街づくりはなされていても、広場づくりが今後の大きな課題だということでしょう。

昭和52年に放映されたドラマ「風見鶏」によって、北野町の異人館がクローズアップされ、今や北野は全国的な観光名所となり、新しい文化が育まれつつあります。このことは、北野町各地区に点在する異人館群が、TVをきっかけとして、それまでの「点」の存在から、異人館通りという一つの「面」へと展開していったためと考えられます。現在、神戸には市立博物館や近代美術館、神戸文化ホールなどの素晴らしい文化施設がありながら、それぞれが「点」として存在し、核となるものがないために「面」への展開が生まれてこない。市民のための広場づくりこそ急務と思います。

(談)



★月刊神戸っ子23周年記念文化賞／第13回受賞者発表

ブルー・メール賞

副賞各拾万円
海の女神ブロンズ
新谷 琇紀 制作

郷土を愛する人々の雑誌、月刊「神戸っ子」はこの3月号で23周年を迎えました。

これもひとえに皆さまの暖かいご支援の賜と感謝いたしております。

さて、月刊「神戸っ子」では、神戸の文化を進めるため、ここに第13回「ブルー・メール賞」(青い海)を設定し、各部門別に選考座談会を行ったうえ、左記の4人と一グループの方々へ賞(彫刻家新谷琇紀氏による海の女神のブロンズ像)をお贈りすることになりました。また、副賞には地元企業のご協力により、各部門の受賞者に拾万円が授与できることになり、心からお礼申し上げます。

地域社会の中から世界に通じる文化を育みたく、力いっぱい努力してまいりたいと思います。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

△授賞式は4月18日(水) 神戸国際展示場／月刊神戸っ子23周年記念パーティで行います▽

□ 文 学 部 門

選考委員

伊勢田史郎・安水 稔和・君本 昌久



時里 二郎

△詩人▽

△安水稔和▽

□ 音 楽 部 門

選考委員

吉村 一夫・柴田 仁・小石 忠男



末広 光夫

△音楽プロデューサー▽

全国でも有名な神戸のジャズを推進してきた末広光夫さんは、まさに神戸文化の有力な担い手である。二年目を迎えたコーベ・ジャズ・ストリートも末広さんの異色の企画であり、それが受賞の大きな理由となった。

△小石忠男▽

美術部門

委員

赤根 和生・増田 洋・草野 拓郎



藤原 志保

〈平面〉

老・荘思想によれば「自然とは自然なり」ということになるが、幼時から親しんできた「紙・墨・水」の厳しい制約の場を止揚・昇華、いささかの衝動も気負いもなく、ひたむきに現代を生きていることを通じてこう成るべく結実させた自然な成果を讀みたい。

△赤根和生▽

舞台芸術部門

委員

佐野 漣箕・名生 昭雄・岡田 美代



花柳五三輔

〈邦舞家〉

日舞部門では五年ぶりの受賞である。決定打は昨年九月初リサイタルの「鵜飼子」であった。正確で新鮮で古典伝承のよき例を示したしまったこの人は素踊りにもよい味を出す。未知の可能性を秘めた幅広く、骨太い独特の個性、鉄は打て、時は今、受賞の意義の一つもここにある。

△佐野漣箕▽

ファッション部門

委員

福富 芳美・森本 泰好・藤本ハルミ・小泉美喜子



「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクト会議

〈代表・高橋洋三〉

「Pearl City Kobe」のワッペンを北野町を初め神戸の街中で見かけた方は多いだろう。一般市民へのアピールが神戸まつりや、神戸パールフェアなどいいイメージを創り上げた。若々しいエネルギーのさらなる燃焼を、

△小泉美喜子▽

★ブルー・メール賞協賛企業

株式会社 淡路屋 角南商事 株式会社
財団法人 井植記念会 株式会社 太陽神戸銀行
伊藤ハム栄養食品株式会社 田崎真珠 株式会社
UCC上島珈琲本社 株式会社 ノーリツ
かねてつ食品株式会社 バンドー化学株式会社
株式会社 神戸風月堂 株式会社 南インターナショナル
シヤルレ株式会社 ユーハイム
神栄石野証券株式会社 株式会社 ワールド

△50音順▽

伝統のホテルで、永遠の愛を誓う

オリエンタルホテルの

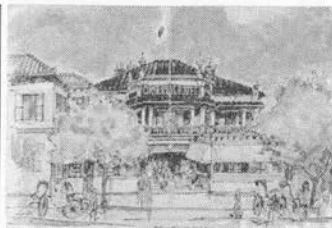
ご結婚式

明治、大正、昭和、
神戸のロマンとノスタルジー

オリエンタルホテルには、明治から大正・昭和にかけてのロマンとノスタルジーの香があります。

1980年代の今日、ホテルは今や人々の新しい広場になりました。洗練された挙式は103年の歴史を誇るオリエンタルホテルにおまかせください。きっと愛の記念日として心にくる結婚式になるでしょう。

心なごむ挙式前のお点前、雅楽流れる中で三々九度、暖かい祝福に包まれる披露宴、お慶びの中にも格調あふれるご婚札を、経験豊かなサービスでお手伝いたします。



留居地時代(明治15年頃)
のオリエンタルホテル



心なごむ挙式前のお点前
は3階お茶室で

真心とサービスで素晴らしい門出を

※オリエンタルホテルで挙式、
ご披露宴をなされたお二人を、
ご結婚一周年記念日の晚餐に
ご招待申し上げます。



神戸オリエンタルホテル

神戸市中央区京町25番地
TEL 078(331)8111

Juchheim's
The gentle and light skin care
make products are made
since 1882

HEALTH IS ELEGANCE

ヘルシーメニュー



カモミールティー

(野菊)

リンゴの香りに似て、甘酸っぱい。
しみ、そばかすを取って美肌を作る
と昔からいらわれています。



ユハイム

本店

神戸市中央区下山手通2-1-18

TEL (078) 331-1694

営業時間：10:30AM～8:00PM

随 想



カット／「もの想う時」山下 博

“めぐり逢いの時” 開催にあたって

山下 博

△在仏画家▽



パリに住んで、“光陰矢の如し”
“10年一日の如く”、この諺にピツ
タリ当てはまるような生活をしな
がら（もちろん現実の生活では今
も相変らず悪戦苦闘を続けていま
す）今年で早や10年目を迎えてし
まいました。まさか、この私がフ
ランスでプロの画家になるなん
て、20歳の頃は夢にも考えなかつ
たことでした。絵の好きな少年が
成長して考えた末に選んだのが広
告デザインの道でした。それで

も、やはり小学生の頃から本当に
好きでたまらなかつたレオナルド
・ダ・ヴィンチのことが知りたく
て、ヨーロッパへリュック一つ背
に旅発ったのが、今から14年前の
ことでした。

足で見て歩いた偉大なヨーロッ
パの文化芸術の歴史に圧倒され、
自分自身のあまりの小ささを思い
知らされ、半年後帰国しました。
数年後、何としてでも再びヨーロ
ッパに行きたい気持ちにかられ、機
会を捜しながらデザインの仕事を
続けていたところ、あるフランス
人ジャーナリストを通じて、パリ
のある画廊に私の作品が紹介され
た結果、こちらの画廊で招待個展
をやらせて頂くことになりました。
この時初めてパリに住むため
フランスへ渡りました。75年のこ
とです。その日から私の新しいも

う一つの人生が始まりました。当
然一度位の個展でパリで絵かきと
して生計が成り立つ由もありませ
ん。しかも、負け犬になって日本
に帰りたくないと言った不純な意
地の方が強かったのです。孤
独に少しづつ慣れ、少しづつ強くな
って行く自分を感じながら、描
き貯めた絵を公けの場に出さなく
てはと思い、自分自身でコンタク
トをとり、審査などを見つけて来
ては受けて、会場にしても、出来
れば無料でやらせて頂ける所でや
り始めました。パリの空の表玄関
の一つ、オルリー国際空港、アー
トギャルリー、パリ国際青年文化
センター画廊、シャイヨーガリエ
ラ文化センターなどでの個展。こ
の国は今も尚、貧しくても自分が
望めば芸術家達にチャンスを与え
てくれる自由な精神をもった国で
す。私にとって未だ日本は多くの
制約があるように思えます。そし
てそれが正当であればまた、理解
も許容も出来るのですが――

この度、神戸日仏協会、神戸市
の協力を得ましてギャラリーさん
ちかで発表させて頂く42点の作品
は決して私の満足の行ったもので
はございませんが、制作の過程に
おいては何かを引き出そうと心を
込めた作品ばかりです。

私は作家の一人として本当に倅
わせに思うことが一つあります。

それは心の情操を求めてやって来る人達にめぐり逢うことが出来るということですよ。元来、真の芸術というのは、そのために存在しなければいけないと信じています。幸いにフランスの人達は芸術・文化の存在しない生活は人間的生活でないと考えている国民ですから私は本当に素晴らしい所に住んでいるわけです。最近、日本に住んでいる若いフランス人にこんな質問を受けました。「どうしてあなたはバリーに住んでいるのですか？」そして僕はこう答えました。「友情と僕の仕事のためですよ」と。

ひなに思う

川西 季乃^{すえの}

△主編▽



私は明治三十四年生まれの八十三歳ですが、このひな人形の一番古いものは、明治二年生まれです。で、百十五歳ということになります。

人形や道具の入っております箱を見ますと、明治二年のものから明治二十五年あたりのもの迄あります。私の母が生まれました年、祖父が最初のものを買い求め、その後、おいおいに買い揃えたよう

です。娘が生まれました都度、買いましたものか、あるいは何かの折にふやしましたものか、定かではありません。

昭和五年、現在住んでおります家を建てました時に、生家から私供の方へ移して参りました。子供達も夫々独立し、今は老夫婦二人で暮らしておりますが、毎年春になりますと、虫干しを兼ねて、人形達を外気に当ててやりたくなり嫁や娘達の手を煩わせては一日がかりで飾りつけます。

昔は等身大の市松人形、庭遊びの人形、お台所のお曲突さん等々もともとたくさんの人形や道具類があつたように記憶いたしております。母や伯母達、私や姉達そして娘や姪達と三代にわたり、遊び道具に使って参りました。お琴、貝合わせ、五目並べ、おままごと、お人形遊び……。ずいぶんいろいろと活用しましたので、傷みもひどく、数もかなり減ってしまいました。戦後、現在の状態に落ち着いております。

残っておりますお台所のお釜で丁度二合のお米が炊けます。かわい御膳や什器が二十人前揃っております。ご飯を炊いて、いろいろとご馳走をつくり、御膳に盛って、娘達のお友達をよくお招きしたものです。

片付けます時も、又来年迄と、



川西家に伝わる雛人形

一年間の別れを告げながら、お習字の練習の反古で一つ一ついいいに包み、箱に納めます。その時はおけいこした字の批評会となる訳で、「この字は上手ね」とか、「これは誰の字かしら？」とか言いながら、賑やかなことです。今は子供達がいないので、反古もなく、箱の目張りも手を抜くようになったりティッシュペーパーで包む等、世と共に、横着な片付け方になっております。昔はなんとなく長閑で、人に対して、物に対しても、温い気持が通い合っていたような気がいたします。人形を見ておりますと、昨今の慌しい世の中に、もう少し潤いのある生活があつて欲しいとふと思うことがあります。

百年前後の年月を経ておりますので、人形の衣類や毛髪もかなり虫に喰われ、道具類もガタガタになってきております。お見せするほど名のある作家のものでもなく、傷みもひどいものですが、思いがけなく、縁あってこのように写真を出して頂くことになり、う

れしく思っております。人形達や道具類もさぞかし満足していることでしょう。

世界は一つ

望月 美佐

△書道家▽

何となく 今年はいいことあるごとし 元日の朝 晴れて風なし

啄木

年があらたまる度にこの歌が胸一ぱいにひろがってまいります。去年の「癸亥」はすべての終りを示し、「甲子(きのえ・ね)」は植物が硬い皮を破って新芽をどんどん伸ばし育てる意味で、エトの還暦つまり諸事一新、堅忍不拔、育盛発展の年です。私の九紫火星も最良の運勢にて、元日からNHKテレビ「こいつは春から」に思いきり動の書演じました。

そして本年は台湾で個展(台湾テレビ、民衆日報の後援)ロスアンゼルスは十月に「日本の書と美佐のすべて」として動の書も、又日米友好のチャリティパーティもセンチュリーホールで予定してい



グレゴリーベック夫妻(中央)・通訳恵美さんと筆者(左端)



「ジャパン・エキスポ'83」にて

ます。これも昨年、七月、シンガポール、九月に台湾、十月に韓国十一月にはじめてのアメリカ、ロスアンゼルス成果だと、思っています。このロスアンゼルスでは、「ジャパン・エキスポ'83」が三日間ヨネンペンションホールで日本の企業約130社が参加して行なわれ、日本の文化・経済の交流の大きな架け橋となり、四回目ですが、スケールも年々と大きくなって、見学者も十万人を越えました。私も一日一回夕方の一番人のよく集まる時間に舞台につくられた、9メートルのパネルに笛の音にあわせて動の書演じ、「花には水を人には愛を」と書きまして、拍手喝采でした。振袖も帯むすびも、髪も何もかも一人でやらねばならぬ外国での生活にそれこそ大変でしたが、何より私の嬉しかったことは、あの有名なグレゴリー・ペック氏のビバリーヒルズのお宅訪問が出来たことです。出合いとは不思議なもので、一昨年グレゴリーご夫妻が東京にいらした折、私の作品が東京シーボン化粧品店、大塚社長室で目にとまり、大変気に入られてしまいました。「鹿」と象形文字で書きましましたのですが、

書斎に飾られてる写真が送ってきまして、私もお手紙を差し上げ、一度ぜひお目にかかりたいとの執念でした。十一月二十九日は朝から通訳の恵美さん、秘書の実方君と落ち着かず、せめてお宅に近いビバリーヒルズホテルで朝食をとりお電話をしました。午後四時半に会见決定、三十分も前からお家の前をウロウロと興奮きみでしたが無事凄じ豪邸にお伺い出来、ピカソ、ロートレック、ムンク、ダリなどの最高の画の間に私の書がかかってあったのには、ほっとしました。一時間半ほどお話しし、すっかり暗くなって失礼しましたが、その時、あの「007」のロジャー・ムーアご夫妻がおいでになり、握手をかわして紹介され、何となくぼーっとして慌てて三人門を出たところで我にかえり、写真のシャッターを押すのも忘れて、それは口惜しい思いがしました。

「世界は一つ」という言葉どおり、日本だけで落着いている時代ではなくなりました。私のように、日本語しかできず、書のことでもまだまだ未熟なものでも努力だけはいしていこうと決心しているのですから、若い世代の日本人一人一人が世界一の平和な国づくりに励み日本魂を発揮してもらいたいものだと思っております。心も身も燃える59年にしたいと思ひます。

ハイセンスな紳士服で
最高のおしゃれを



三恵洋服店

神戸・元町4丁目 ☎(078) 341-7290

BB
BALENCIAGA
PARIS バレンシアガ



ファッションの真髄は
シックにある。

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321) 1212 代表
三宮店・さんちかタウン ☎(391) 1874 ~ 5

△その53△中国の伝統ある学府

『西冷印社』と『岳麓書院』

水谷 頤介

△都市計画家・建築家▽

昨年末に参加した長江下流域考察団の旅で、2つの興味ある学芸の場を訪ねることができた。

1つは、杭州の西湖のほとりの孤山の「西冷印社」である。杭州は、大運河の南端に位置し、13世紀にここを訪れたマルコ・ポーロがその壮麗さをたたえて世界第一の豪華・富裕な都市だと伝えた町である。大運河と結んだ当時の市内の運河である中河・東河もそのままで、中国の重要歴史都市の1

つでもある。そして、湖中を走る

蘇堤など西湖の風景は、九州の福岡の大濠公園のモデルだとされている。ただ、西湖の水は、集水面積も少なく、藻などの有機物質で緑色に汚染されていて、いますこし離れた錢塘湖の水をいれて浄化する計画がすすめられている。「西冷印社」は、中国の伝統ある金石の保存と印学の研究団体に国内国外の100人以上の印章彫刻家や書家が社友として参加していて、清代の浙派と呼ばれた西冷八家の系をひきついで、1904年に学術団体を結成し、10年経過して1913年に呉昌碩が社の長となって設立された。日本からも、河井仙郎、長尾甲などが参加していた。

1963年には60周年記念大会が催され、郭沫若が祝賀の詩をおくっているし、1980年の11月7日には、朝倉文夫の作だった呉昌碩の胸像を日本側で復元して贈った除幕式がおこなわれた。

境内には、唐代に建てられていたという竹閣、北宋時代だという柏閣、榮代だという四照閣などが西湖を見下して建てられ、浙江省最古の1900年前の「三老諱字忌日碑」や数多くの金石が埋蔵されている。「西冷芸華」という機

関誌を出版されている。国の重点文物保護単位（重要文化財）である。

もう一つは、長沙の岳麓山の麓にある「岳麓書院」である。長沙は、1972年〜74年に発掘された馬王堆漢墓で有名である。毛沢東が長沙の第一師範学校を卒業し、船山学社で湖南自修大学を創立したことや、辛亥革命の活動家であった蔡鍔、黄興、そして劉少奇など革命家がこの地から多く輩出して、明治維新の士の郷土鹿児島と友好都市を結んでいる。

岳麓書院は、976年に創建され、嵩陽、睢陽、白鹿洞と並んで宋代の4代書院とされていた。カイロのアズハル・モスクと並ぶ最古の学府である。もともと空海の綜芸種知院は828年の創設である。全盛時代には朱子学の祖である朱熹と、張栻がいて、学生1000人を送り出したと言われている。書院は、現在では隣接する湖南大学のキャンパスの施設になっていて、大学の修復管理委員会によって、建物とその周辺環境の整備が進行中であった。そして、書院の眼前には、高層の大学図書館も建設中であった。

湖南大学のキャンパスと湘江をこえた対岸の長沙の中心市街地の位置関係を岳麓山の上から眺めてみて、ここは、ふと、ペンシルベニア大学とフィラデルフィアの関係構造とよく似ているなという感想が頭をかすめた。

院書麓岳

長沙・岳麓山の麓にある「岳麓書院」

詩心象

詩・安水 稔和
画・石阪 春生



椿酒

草野さんをホテルに送ってから人影まばらな阪急三宮のコンコースで別れた。草野は今夜は楽しそうだったなあ。そう言ってガクリと肩を落すように向きを変えたとゆっくりと階段をのぼっていった。それが詩人を見た最後だった。

今日はあまりたくさんは飲めません。そういつてゆっくりと、だがとだえることなく飲んだ人。蓮華が咲くと蓮華田に坐って。椿が咲くと椿の木でした。今もきつと飲んでいるんだろうな。薺のなか椿の木のしたで。坂本さんは。

詩人坂本遼（一九〇四—一九七〇）の「自伝」の大半は酒の話で占められている。「椿の花を揺り落して、それを杯にすると、花の香が移り、花粉が浮く」。この「椿酒」はどうまい酒はないと詩人は記している。なお、草野さんは詩人草野心平のこと。

●れんさいエッセイ

／Wakakoの神戸はKOBELAND最終回V

世界のいけばな

小原 稚子（小原流理事・国際部長）・絵／上尾忠生



久々の大雪で羽田空港が閉鎖された一月末に、私は常夏のシンガポールとマレーシアへの出張を終えて帰国した。わずか五時間半の空の旅で、これだけ気候が変わる。海外のいけばな愛好家や小原流の会員たちの中で仕事をしていると、人種や国境、そして地理的な距離はほとんど感じない。けれども、こうして真夏から厳寒への変化を経験すると、改めて忘れていた外国との距離感を思いおこす。

小原家では、昔から「女は花を生けない」という不文律があった。つまり私の家では、花を生けることは男の仕事なのである。そのせいで、私も一応、父や高弟から手ほどきは受けたが、今でも人前では花を生けない。

しかし私の仕事は、まさに「いけばな人」の仕事である。私は、四年間のアメリカ留学を終えて帰国してすぐ、小原流の海外部門の仕事を始めた。「花を生けないいけばな人」としての仕事のはじまりである。当時、海外にはアメリカのシアトルとホノルルくらいにしか支部がなかったように記憶する。外国人で小原流の許状をもっている人の数さえ正確には把握できていなかった。

今では海外だけでも、四十四番目の支部がオー

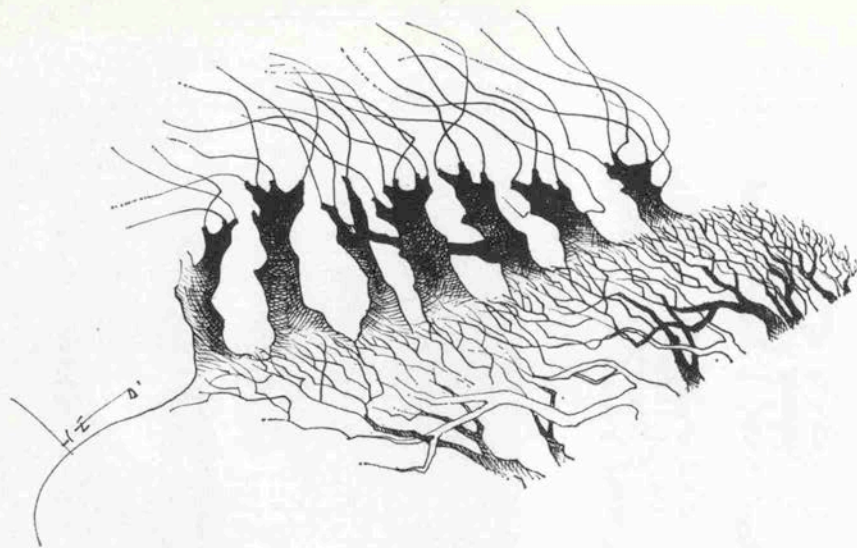
ストラリアのシドニーにできようとしている。外国の支部活動が盛んになればなるほど、日本のいけばなを知る人々も増えてくる。自動車やコンピューターといったハードウェアの輸出は貿易摩擦をおこすことがあるが、いけばなのセールスは日本への理解をいっそう深めてくれる。私の仕事は日本への国際理解を深めるのにいささかでも役立っているとしたら、私は一小原流の立場を越えて嬉しいことだと思う。

海外での仕事の時、私は多くの日本女性がするように、美しい日本の着物を着ることはない。それは、私の仕事は、花を生ける主役をもち立てる裏方の仕事だという自覚があることと、もう一つは、国際社会で仕事をする時には、着物に代表される日本情緒は必要ないと思うからだ。現在の日本の国際的立場からいえば、むしろそういったイメージは無駄だと思うくらいだ。必要なのは、インターナショナルな感覚と、堂々と相手と渡り合える仕事の内容、そしてマナーと自信ではなからうか。

日本では、自分のできることを控え目に言うことが奥床しいとされる。しかし、国際的な立場ではそれは通用しない。自分はこれだけのことがで

きると堂々と売り込み、それに対してあなたは何をしてくれるか。つまりギブアンドテイクをはっきり打ち出さなければビジネスにならない。「イエス」と「ノー」も大切であるし、契約も重要である。

こう述べてくると、私がいかにも国籍不明のインターナショナル人間志向のように思われるかも知れない。しかし、それは違う。



私は留学時代、そしてその後の仕事を通じて、国際的な活動をすればするほど、「日本的」であることへの志向が強くなってきた。いや、真に日本的であることの重要性を知ったといったらよいだろう。生まれつきインターナショナルな人間というものは存在しない。誰でも、それぞれの生まれた国をもっている。そういう「民族的」な人間が集まって仕事をする共通の感覚が「インターナショナル」と表現されるのではないだろうか。そういう中で自信をもって仕事をしていくためには、日本人としての信念と誇りのない人間は失格だと私は思う。

短期の観光旅行ならともかく、長らく外国に滞在したり、仕事で出かけると、いかに自分は日本のことを知らないかを痛感するはずだ。アメリカ留学の成果は何かと問われたら、私は、それは日本を見つけたことだと答えるだろう。

私は自分が日本人だということを強く自覚するようになった。その自覚と信念が現在の仕事を支えてくれている。そして、父によって与えられた日本の美観が、私にこの仕事を選ばせたといつてよい。日本人として誇りに思える日本美の一端を世界に知らせたいという欲求とでもいおうか。それは家元の家に生まれたという宿命とでもいうべきものだけからくるものではないように思える。

私は「いけばなを海外へセールスする」この仕事が好きである。使命感をも感じる。私の前に世界が開けている。そこには日々新たな出会いがあり、その出会いが私を育ててくれるのだ。より素晴らしい「出会い」を念じつつ、私はまた「いけばなを世界へ広める」旅に向うのである。